

岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

平成 年 月 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ
団体名 ツネノ川がいの生家へハミナ
ドクワウツダントガツツセイビスルカイ
坪田譲治の生家への道と
童話を生んだ能登川を整備する会
所在地
連絡先
フリガナ カイノ川ガイノセイビスルカイ
代表者氏名 会長 矢根 亮 二

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) <input checked="" type="radio"/> 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名	坪田譲治の生家のPRと関連する施設の整備
事業実施区域 (小学校区)	石井小学校区
事業実施内容	<p>※実施事業の概要をご記入ください。また事業実績を示す写真(2枚程度)、作成した報告書やチラシ等を添付してください。</p> <p>別紙事業経過の通りですが、昨年実施した「お魚調査隊」「生家調査隊」「能登川の川掃除」「坪田譲治のゆかりの地を歩く会」の他に、PR活動に力を入れた。PRチラシを配布したのは次の通りです。</p> <p>① 牟婁町商工会と石井学区内の各種団体とで実施して、1500枚を贈ろう「浪漫マップ巻戻器」をチラシを配布したが、通行人が中々受けとってくれなかった。</p> <p>② 石井学区地域協会(学校主催)の「おぼろー先生の宴」に協賛、マップの一員として参加して、参加者全員にチラシを配布した。</p> <p>③ 岡山市主催の「坪田譲治文学賞」贈呈式・記念行事のプログラムとマップを参加者全員に渡すことが出来た。</p> <p>岡山市への活動きっかけで、本年度は次の成果をみる事が出来た。</p> <p>① 岡山県西田から生家跡地を、お祈りの矢野看板が設置された。本年度の歩む会は、この矢野看板にそって実施した。</p> <p>② 能登川に費か飛ぶのを環境整備(費用)が1件完成した。</p>

- ア 地域課題解決⇒解決を目指した課題の達成状況
- イ 地域課題掘り起し⇒掘り起こりにより明らかになった課題等
- ウ 地域計画づくり⇒作成された計画等
- エ 地域課題解決型の地域組織づくり⇒目指した地域組織づくりの達成状況
- オ その他⇒定めた目標の達成状況

事業目的とその達成状況と効果

など、掲げた目的とその達成状況を記載してください。また事業を実施したことで生まれた新たな効果などありましたらご記入ください。

昨年も報告させていたと思いますが、生家跡地の存在を石井学民並公に岡山市民にもっとPRし、街づくりにつなげていくのはテーマが大きい。効果を比較する尺度が難しと思います。初年度に続き、二年目もまずまずだったのではないだろうか。継続することが大切だと思います。

数字面での効果を上げれば、歩く食の参加者が、メニューとして参加してくれる坪田譲治を顕彰する会の発足の参加が彼岸の関係で減少したにもかかわらず昨年より10人多い、116人の参加を挙げた点です。又、毎年夏休みに実施している石井学民並地域協働学校の校庭を7割、がらりと変えて坪田譲治がらみの「つばはー」の庭の広さをも実施した点等、関心が高まってきたように思われます。

岡山市も私達の要望にこたえてくれて、岡山駅西口から生家跡地までの次郎看板の設置、能登川の賛助メニューの工事、坪田譲治奨学金の予算配分等、一歩々々前進しているのではないかと感じております。

※実施にあたって工夫したこと、また住民への活動の周知広報の取組とその評価を記載してください。

企画などの工夫と情報公開

特別な工夫はありませんが、本年度は山陽新聞が私達の活動を紹介してくれました。歩く食の前たるは為、歩く食の参加者が増加した要因になっていふかも知れません。

又、石井学民並町内会主催の新年総会(本年度10人出席)、研地社会福祉協議会の会報(石井社協だより)で活動内容を報告しました。ちなみに石井学民並が取り組む三つの街づくりの一つとして位置付けております。参考までに三つの街づくりを紹介します。

- ① 能登町商店街を中心とする商業の振興の街づくり
- ② 高齢者の多い地元の福祉の街づくり
- ③ 岡師が桃太郎の街といわれるように、石井学民並が坪田譲治の街といわれるような街づくり。

※次年度に引き継ぐ課題、今年度の実績を踏まえた次年度計画の概要をご記入ください。また次年度に引き継がず活動を完結する場合はその理由（課題が解決したからなど）をご記入ください。

次年度計画

昨年実施した事業は基本的には全て継続します。継続的・事業は次の通りです

- ① 会議の実施
- ② 生簀跡地の清掃
- ③ 能登川の魚類等の調査
- ④ 能登川のり粉魚
- ⑤ ゆかりの憩いの森の管理
- ⑥ チラシをばらまき PR活動
- ⑦ 関連団体との協力関係を構築

事業の目標をさらに前進させる為、新年度は坪田譲治の跡、研究北前線したのほり護を作り、学区内の要所に立てます。又、関ヶ原へは池の三点を整理していきます。

- ① 駅西口と生簀跡地にゆかりの地を設けた案内看板の設置
- ② 能登川の護岸に蟹アークの工事をより所実施
- ③ 石井小学校前の歩道に、譲治に關するモニュメント的な物を設置

※事業を実施することを通じて持続可能な地域づくりをすすめることができたか、あるいは持続可能な地域づくりを担う人づくりにつながったかなど、本事業についての評価をご記入ください。

事業実施者としての評価・感想など

初年度に引き継ぎ2年目もますますたつたのではないかと感じております。私達の会の構成で、若い人達がいる団体は、濱分研会館と石井小学校PTAの二団体だけなので、後継者育成という点では問題を残しているかもしれません。

又、ゆかりの地を歩く会は、同じ研中中学校区の三門小学校・大野小学校の生徒の参加が、二年続けて皆無でした。同じように、金沢地区に案内チラシを各校側にお渡ししているお魚調査隊は、少いながらも、参加者をおいております。新年度の研究課題として、役員会・執行部会を検討して、いきます。三年目も、新しいものをとり入れて取り組んでまいります。

■収 支 決 算 書

◆収 入

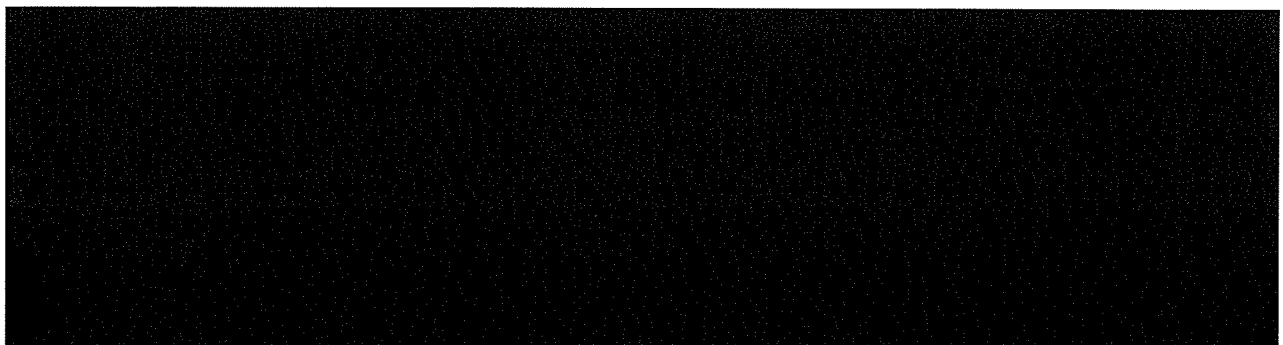
単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	100,000	80,700	
負担金			
参加費			
寄付	100,000	80,802	石井学区連合町内会 60,000 坪田譲治を顕彰する 10,000 円 匿名 10,802 円
計	200,000	161,502	

◆支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容
消耗品費	80,000	8,640	チラシ用紙代など
食糧費	31,700	17,938	お茶など
印刷製本費	70,000	118,760	チラシ印刷代等
通信運搬費	3,300	164	切手代
手数料			
使用料			
原材料費			
委託料			
報償費	10,000	10,000	講師謝礼
旅費交通費			
保険料	5,000	6,000	傷害保険料
計	200,000	161,502	



■事業実施経過

※時系列に沿ってご記入ください。事業実施のための準備や打ち合わせ会場日などもご記入ください。補助事業実施決定前の準備活動についてもございましたらご記入ください。

年月日	内容
平成28年4月9日	執行部会(石井分館) 役員会の打ち合わせ
5月1日	役員会(石井分館) 総会にあたり
14日	お魚調査隊(能登川)
6月11日	執行部会(翁) お魚調査隊の反省と今後の行事について
18日	生家跡地 清掃(生家跡地)
7月30日	PRチラシ配布(春選町商店街で菓店ほか 浪漫マップ奉還)
8月6日	執行部会(石井分館) 浪漫マップ奉還祭の反省と今後の行事について
21日	石井学区地域協働学校主催の「つぼいよー先生の宝探し」に協賛(参加費を負担)し、参加してPRチラシ配布(研小学校)
10月1日	執行部会(石井分館) つぼいよー先生の宝探しの反省と今後の行事について
29日	能登川の川掃除(能登川)と生家跡地の清掃(生家跡地)
平成29年2月11日	執行部会(石井分館) 今後の行事について
26日	岡山市の「坪田謙治文学賞」贈呈式・記念行事の招き状にPRチラシをばらまいてもらい、参加者にPR
3月11日	歩く会の打ち合わせ(石井分館)
19日	坪田謙治のゆかりの地を歩こう会(石井学区内のゆかりの地)
※岡山市への働きかけで出来た案件	
1.	岡山市西口から生家跡地までの歩道看板をより新設置(文化振興課)
2.	能登川に螢が産むような環境整備(螢ボックス)取付工事(北見農林水産振興課)
※引き続き要望する案件	
1.	岡山市西口と生家跡地に、坪田謙治のゆかりの地を歩こう会(大塚町の看板の設置(文化振興課)
2.	能登川の螢ボックス工事をもう3ヶ所要望(北見農林水産振興課)